

令和5年度 脇町地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録 (1/2)

(有事に備えて一人ひとりが取り組めることを発信し、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指す)

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p>つながり(支えあい)/健康 ○小地域生活支援ネットワーク 活動情報交換会の開催</p> 	<p>日時：令和5年7月18日(火) 場所：穴吹農村環境改善センター 参加者：47名(小地域生活支援ネットワーク、実行委員、関係機関、事務局)</p> <p>内容 ①認知症寸劇 講師：おしどり笑劇団</p> <p>②「〇〇だったからこうなった！ 色んな言動の意外な原因クイズ」 講師：若宮の里グループホーム管理者 山根 正大 氏</p> <p>●各種推進・紹介 実行委員 阿部 嘉子</p> <p>●グループワーク・発表 ・「認知症寸劇」の感想 ・「〇〇だったからこうなった！ 色んな言動の意外な原因クイズ」の感想 ・地域で取り組めそうなこと</p>	<p>認知症への正しい知識と理解を深めると共に、認知症の方への接し方、気持ちなどを学ぶ機会となった。事後アンケートにおいて、『地域で見守り活動を実施していく中で、参考になった』『認知症の方は、自尊心が高いので言葉に気をつける』など、活動の大切さをより知って頂ける内容が多く上がった。例年参加されていない地域からの参加もあったことから、地域のきずなづくりや見守り活動の人材育成につながることができた。</p> <p>認知症高齢者が増加傾向にある今日、今後も地域の見守り活動が充実するよう、情報提供や先進地域の活動紹介などを行い、地域のきずなを強くしたい。そのためにも、一人でも多くの方に参加頂けるようなテーマを発信し、新たな人材の育成を図っていきたい。</p>
<p>○ふれあい・いきいきサロン 情報交換会の開催</p> 	<p>日時：令和5年11月14日(火) 場所：穴吹農村環境改善センター 参加者：43名(サロン住民、実行委員、とくしま生協、関係機関、事務局)</p> <p>内容 ●小星地域活動発表 講師：小星いきいきサロン 青木 美智子 氏 大久保 美登枝 氏 福永 愛子 氏</p> <p>●講話：私達の身の回りで起きている今日的課題と法制度～成年後見制度と所有者不明土地～ 講師：公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート徳島支部 司法書士 森 廣一 氏</p> <p>●グループワーク・発表 ・小星の活動発表を受けての感想 ・成年後見・相続についての講演を受けての感想</p> <p>●実行委員会 活動紹介 実行委員 河合 純子</p>	<p>地域でも所有者不明土地があることから、新たに義務化される制度について講演いただいた。また、地域で活発に活動されているサロンより、活動について報告いただいた。参加者からは『相続の簡単化、所有者不明土地の実態、空き家危険家屋対策が分かった』『サロン内だけでなく、地域交流も必要』などの声が聞かれたことから、地域活動へのヒントへとつながることができた。</p> <p>今後も地域課題を共有できる機会として、基調講演、グループワークの内容などテーマを検討し継続的に開催していきたい。また、新たに参加頂いた地域もあったが、参加地域、参加者は限られつつあるので、呼びかけなどの周知を行い、参加地域、参加者を増やす必要がある。</p>
<p>防災・防犯/つながり(支えあい) ○あんしんカードの推進</p>  <p>体調不良等で、離れて暮らす家族に連絡をとる時、備えておくと安心で便利です。ぜひ記入を！</p> 	<p>●より一層カード活用を高める為、啓発チラシを作成(救急車を呼ぶ「もしも…」の時、災害時の安全と安心を守るために活用してほしい)</p> <p>●関係者・関係機関と連携したカード啓発 ・令和5年7月18日(火) 小地域生活支援ネットワーク情報交換会 ・令和5年10月29日(日) 「脇みちを歩こう」ウォーキング大会 ・令和5年11月14日(火) ふれあい・いきいきサロン情報交換会</p> <p>・他各種サロンなどで啓発 ・消防署や警察との情報共有で紹介</p>	<p>美馬市では高齢化率が約40%と全国平均の29%を大きく上回っている。独居世帯や高齢者世帯も増加傾向にあることから、住民が集まる交流会やウォーキング大会であんしんカードの必要性を周知した。幅広い年代に啓発したことで防災意識も高まり、つながり(支えあい)への意識づけにつながることができた。外出中の緊急時に対応できるよう、携帯用のあんしんカードも作成することができた。</p> <p>美馬市が無作為(2,000名/うち有効回答数1,411名)に行ったあんしんカードのアンケートにおいて、作成していると回答した方は12.5%と低い結果となった。今後はより一層活用者が増加するように、様々な場所で継続して、普及啓発を行いたい。また、携帯用あんしんカードも同時に周知し、緊急時に役立てていただくとともに、地域で協力して活用いただけるよう取り組みたい。</p>

令和5年度 脇町地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録 (2/2)

(有事に備えて一人ひとりが取り組めることを発信し、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指す)

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p>環境 ○ペットボトルキャップ回収運動</p>  	<p>●啓発物(回収運動ポスター、分別協力依頼)の作成と周知</p> <p>●各団体へキャップ回収運動説明</p> <p>●集まったエコキャップの分別作業と換金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 令和5年 8月10日(木)290kg ・2回目 令和5年12月14日(木)260kg   <p>●車椅子購入</p> <p>●車椅子贈呈式 令和5年9月14日</p>   <p>※過去6年間：分別数量3666.5kg 車椅子購入台数6台</p>	<p>美馬市内で多くの方にエコキャップ回収活動に協力いただいたことで、今年度も車椅子を購入することができた。今回は江原中学校で活用いただくこととなり、校長先生からは『生徒の福祉教育の一環にしたい』『今後、協力できることはさせていただきたい』と、実行委員会活動への理解を得ることができた。</p> <p>美馬市全域で幅広く浸透したことから、エコ活動や環境美化意識の向上につながった。また、昨年度末から脇町高校JRC部の皆さんにエコキャップの分別作業にご協力いただくようになり、福祉教育にもつなぐことができた。</p> <p>キャップ以外の混入物もあり、委員による分別作業が続いている為、出し方について啓発、周知を行うとともに、作業についても、様々なボランティア団体と協力して行っていくたい。</p> <p>環境保全から地域福祉力の向上につなぐとともに、住民の意識向上につなげていきたい。</p>
<p>健康 ○「脇みちを歩こう」ウォーキング大会の開催(ノルディックウォークの啓発)</p> 	<p>日時：令和5年10月29日(日)</p> <p>場所：うだつアリーナから別所大楠</p> <p>参加者：113名(住民、実行委員、関係機関、事務局)</p>   	<p>毎年恒例のウォーキング大会は、地域交流の場(機会)として、子どもから高齢者まで世代をこえて楽しめるイベントになっている。</p> <p>今年は他のイベントと重なり参加者が少なかったが、ウォーキングを楽しむことができ、健康寿命の延長、運動習慣の推進を行うことができた。</p> <p>より一層参加者を増やすとともに、住民が元気に生活が送れるよう、今後もウォーキング大会などにより、運動習慣を呼びかけていきたい。</p>